

令和3年度

事業報告書

学校法人 鶴鳴学園

令和3年度事業報告書

学校法人 鶴鳴学園

はじめに

令和3年度は、前年同様、新型コロナウイルス感染症対策による制限の中で次年度の学生・生徒募集活動となり、夏のオープンキャンパス・オープンスクールも時間短縮・日程変更等での実施となった。

長崎女子短期大学においては、次年度の入学予定者数は138名、幼児教育学科、生活創造学科共に定員未充足となり、引き続き定員確保に向けた学生募集対策が喫緊の課題となった。

長崎女子高等学校においては、次年度入学予定者数137名と定員充足となった。「普通科総合選択制」高校としての特色を深化させるとともにICT教育の導入推進に取り組んできた。

長崎女子短期大学附属幼稚園においては、短期大学幼児教育学科との連携を深め附属幼稚園としての特色を更に鮮明にして、引き続き独自性のアピールに努めてきた。

I. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業

(1) 施設設備の整備

厳しい財政状況下であるが、令和3年度においては、短大記念ホール漏水補修工事、短大図書室空調機器更新、高校ICT教育設備の設置・購入、高校第二体育館屋根防水工事など主に以下のような施設、設備の整備を図った。

<短期大学>

(単位：千円)

部 門	内 容	業 者	金 額	備 考
短 大	記念ホール漏水補修工事	(株)協栄興業	3,157	
〃	図書室空調機器更新	ダンレイ中央(株)	2,622	
〃	ピアノレッスン練習室空調機器更新	空設	1,006	
〃	音楽室空調機更新	空設	924	
〃	幼児教育学科研究室空調機更新	(株)オリオン電防	913	
〃	調理試食室空調機更新	空設	539	
〃	スチームコンベクション(調理機器)購入	(株)フジマック	1,540	
〃	秘書室他教室プロジェクト設置	(株)イシマル	883	

〃	2号館トイレ自動水栓・ 自動センサー取付工事	(株)旭管工社	1,307	
	計		12,891	

<学生寮>

(単位：千円)

部 門	内 容	業 者	金 額	備 考
学生寮	玄関ホール・浴室・脱衣 室 LED 照明器具更新	(株)オリオン電防	721	
〃	玄関ホール空調機増設 工事	(株)オリオン電防	781	
	計		1,502	

<高等学校>

(単位：千円)

部 門	内 容	業 者	金 額	備 考
高 校	ICT 教育設備の設置・ 購入	(株)イシマル	14,413	
〃	第2体育館屋根防水工事	(株)協栄興業	11,000	
〃	調理実習室空調機更新 工事	(株)オリオン電防	878	
	計		26,291	

<幼稚園>

(単位：千円)

部 門	内 容	業 者	金 額	備 考
幼稚園	遊戯室天井工事	(有)ヒラタ建設	407	
〃	ノートパソコン3台	(株)イシマル	341	
	計		748	

主な施設設備 合計(短大+寮+高校+幼稚園):41,432 千円

(2)高大連携事業

①高一 「体験学習・短大見学会」 1年生92名が参加

期日:令和3年10月12日(火) 13:30~15:15 場所:短大

内容: DVD 視聴、全体説明(学科・コース紹介)、授業見学・体験

②高二 「系列別体験学習会」

期日：令和3年9月24日(金) 14:00～15:30 場所:短大
参加者:69名(くらし系列、しごと系列、こども系列)

<体験学習内容>

栄養士コース：調理実習「色々なマフィンを作ってみよう」

ビジネス・医療秘書コース：「ゲームで磨くノンバーバル・コミュニケーション力」

幼児教育学科：「認知の世界を知ろう」

③高三 「ピアノ応援プラン」

期日：令和3年8月18日(木)、8月19日(金) 9:30～12:15
参加者：こども系列 3年生15名

④「入試説明会」

期日：令和3年9月24日(金) 13:10～13:40
参加者：長崎女子短期大学受験予定者 20名

(3)幼大連携事業

①長崎女子短期大学幼児教育学科1年生体験学習 7月2日、28日
新型コロナウイルス感染症予防のため園内見学のみとなった。

②長崎女子短期大学幼児教育学科2年生教育実習
参加者5名：令和3年5月31日(月)～6月11日(金))
令和3年9月21日(火)～10月13日(木)

③長崎女子短期大学生生活創造学科栄養士コース学生による「箸の持ち方指導」
6月16日(水):年長児・年中児対象、10月25日(月):年少児対象

(4)短大ゼミナール発表会の開催

令和3年度のゼミナール発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(5)地域との連携及び開放

令和3年度は、公開講座6講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1講座を中止した。今年度は、長崎新聞のNR7・8号に公開講座とオープンキャンパスの案内広告を掲載した。また、本学ウェブサイトでの広報及び各学科・コース独自の案内・広報を行った。

○短大公開講座（令和3年度）

講師	講座名	開催期日	受講数
桑原 真美 守山 優美 一倉 美保	長崎食育学講座① 基本の丸パンと長崎県産フルーツを使用したフルーツバター作り	R3.7.10	17名
高橋 秀樹	ダンス/ムーブメント	R3.7.23	8名
山中 慶子	わくわくサマークラフト 手作りシーサー &マリンハーバリウム体験	R3.8.8	12組 29名
濱口なぎさ	パソコン講座 タッチタイピングをマスターしよう	R3.9.25	中止
古賀 克彦 守山 優美 那須 真衣 一倉 美保	長崎食育学講座② 親子パン作り教室 1回目：一般対象	R3.9.25	9組 21名
古賀 克彦 守山 優美 那須 真衣 一倉 美保	長崎食育学講座② 親子パン作り教室 2回目：附属幼稚園親子対象	R3.11.6	10組 25名

(6)その他短期大学における主な取り組み

①FD 研修会

実施日:令和3年8月31日(火)10:00~12:00

テーマ:「Society5.0に向けた特色ある教育とデータサイエンス教育」

アクティブラーニング講習会

実施日:令和4年3月18日(金) 10:00~12:00

テーマ:「IR データを活用した学習・生活・就職支援の充実に向けて」

「授業評価アンケート及び卒業時調査に基づく教育の充実と公表」

授業評価アンケート、各学科・コースの卒業時アンケート結果を用いた

ミーティング

②SD 研修会

実施日:令和3年8月31日(火) 13:00~15:00

テーマ:「Society5.0に向けた特色ある教育とデータサイエンス教育」

数理・データサイエンス講習会、PC 技術講習会

実施日:令和4年3月18日(金) 13:00~15:30

テーマ:「IR データを活用した学習・生活・就職支援の充実に向けて」

「部署別年次報告会による情報共有と相互支援の充実~データに

基づく成果(特色・強み・魅力)と課題(弱み・改善計画~)

③外部評価委員を招いての自己点検評価委員会の開催

日時：令和4年3月29日(火) 13:00～15:00

○外部委員5名

- ・天本 俊太氏 (社会福祉法人みのり会 理事長)
- ・池田 大輔氏 (長崎新聞社経営企画室 部長)
- ・原田 宏子氏 (長崎市秘書広報部 部長)
- ・安藤 嘉朗氏 (長崎県立長崎明誠高等学校 校長)
- ・中村 こずえ氏 (長崎県中小企業家同友会 代表理事)

○諮問事項

- ・令和3年度学長運営方針について
- ・令和3年度の取り組みについて
入学者数、在籍者数、退学者数、退学率について
学生募集について
就職支援について
学科・コースの特色ある取り組み及び実績について

(7)高等学校における主な取り組み

① 美容コースの夏季スクーリングについて

対象者：しごと系列美容コース

1年生25名、2年生19名、3年生8名 計52名

期間：令和3年7月26日(月)～8月6日(金)

②介護職員初任者研修

対象者：ふくし系列3年生6名

期間：令和3年7月19日(月)～26日(月) 4日間

令和3年8月18日(水)～20日(金) 3日間

③ピアノ応援プラン

対象者:こども系列 3年生 15名

期間:令和3年8月18日(水)～8月19日(木) 9:30～12:15

④ 第4回クレインズフェスティバル2021

令和3年度は、コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止した。

⑤ 第3回系列成果発表会

日時：令和4年1月8日(火) 11:25～12:45

場所：各系列で発表内容の動画を作成し、各教室で視聴した。

参加者：全学年

3年生が系列ごとのドリカム・スタディの授業を通して学んできたことを発表し、自己の成果を確認する。1・2年生は発表を見学し、今後の目標等を確認する機会とした。

⑥ しごと系列美容コースの春季スクーリング

期 間：令和4年3月22日(火)～3月31日(木) 8日間

場 所：県美容専門学校

参加者：1年生 24名、2年生 17名 計 41名

(8)附属幼稚園における主な取り組み

- ① 子育て支援事業「わくわくクラブ」の実施
- ② プレ入園2歳児教室「のびのびクラス」の実施
- ③ 基本的な生活習慣の定着
- ④ 健康指導(手洗い、うがい等)と食育指導(野菜栽培・食事マナー等)
- ⑤ 保護者アンケートの実施
- ⑥ 防犯訓練・避難訓練の年3回ずつの実施

2. 入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数(令和4年度入試)

<短期大学：入学定員170名>

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	内長崎女
学校推薦型選抜	128	128	128	128	20
総合型選抜1期	2	2	2	2	1
総合型選抜2期	1	1	1	1	0
総合型選抜3期	2	2	2	2	1
大学入学共通テスト	5	5	5	2	0
一般選抜前期	1	1	1	0	0
一般選抜後期	0	0	0	0	0
社会人選抜	3	3	3	3	0
合 計	142(151)	142(150)	142(150)	138(148)	22(33)

合計欄()は前年度分

<高等学校：入学定員125名>

入試	試験	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
特別入試	推薦試験	102 (86)	102 (86)	102(86)	102(86)
	専願試験	29 (34)	29 (34)	29(31)	29(31)
	計	131(120)	131(120)	131(117)	131(117)
	併願試験	93 (72)	92(71)	88(68)	3(10)
一次入試	一次試験	24 (7)	13 (7)	11 (7)	3(2)
二次入試	二次試験	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0(0)
合 計		248 (199)	236 (198)	230 (192)	137 (129)

合計欄()は前年度分

<幼稚園：収容定数 110 名>

	年少少 (満3歳児)	年少 (3歳児)	年中 (4歳児)	年長 (5歳児)	計
進級児	—	7	32	31	70
転入・入園児	—	21	1	0	22
合計	—	28(32)	33(32)	31(37)	92(101)

合計欄()は前年度分

3. 学生・生徒の就職・進学状況(令和3年度卒業生)

<短期大学>

令和4年3月31日現在

学科・コース	卒業生数 (A)	就職希望 (B)	就職決定 (C)	進学	未定 その他	就職率 C/B	就職率 C/A
栄養士	22	19	19	3	0	100%	86.4%
ビジネス・医療	23	21	20	1	2	95.2%	87.0%
幼児教育	91	87	87	0	4	100%	95.6%
合計	136	127	126	4	6	99.2%	92.6%

<高等学校>

令和4年3月31日現在

内訳	卒業生数	決定	未定	決定率	備考
進学	70	69	1	98.6%	
就職	29	29	0	100.0%	
合計	99	98	1	99.0%	

II. 財務の状況(3カ年の収支状況)

1. 事業活動収支計算書(令和元年度～令和3年度)

○収入の部

(単位:千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金	531,049	514,215	513,880
手数料	7,513	6,874	5,873
寄付金	1,539	1,906	1,045
補助金	230,713	264,911	269,567
付随事業収入	82,361	73,054	66,354
雑収入	8,868	14,626	8,179
退職金財団受入金収入	56,114	914	55,901
教育活動収入合計	918,157	876,500	920,799

○支出の部

人 件 費	488,194	484,180	491,386
退 職 金	57,312	1,247	56,591
退職給与引当金繰入額	633	0	0
教 育 研 究 経 費	267,938	297,587	322,325
管 理 経 費	133,254	128,595	127,582
借 入 金 等 利 息	0	0	0
徴収不能引当金繰入額	0	0	0
教育活動支出の部合計	947,331	911,609	997,884
教育活動収支差額	△29,174	△35,109	△77,085
教育活動外収支差額	12,459	12,735	12,641
特 別 収 支 差 額	1,997	2,543	8,110
基本金組入前収支差額	△14,718	△19,831	△56,334
基本金組入額合計	△44,731	△12,329	△10,717
当年度収支差額	△59,449	△32,160	△67,051
前年度繰越収支差額	△1,102,647	△1,142,096	△1,174,256
基 本 金 取 崩 額	20,000	0	0
翌年度繰越収支差額	△1,142,096	△1,174,256	△1,241,307

※ 令和2年度、令和3年度と学生生徒等納付金等収入は減少している。一方、支出は令和2年度で前年比減少したものの、令和3年度は前年比増加し、教育活動収支差額は、令和2年度が△35,109 千円、令和3年度が△77,085 千円で支出超過となった。

基本金組入後の当年度収支差額は、令和2年度△32,160 千円、令和3年度は△67,051 千円で支出超過となった。

また、令和3年度の翌年度繰越収支差額は△1,241,307 千円となった。

2. 資金収支計算書(令和元年度～令和3年度)

○収入の部

(単位:千円)

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	531,049	514,215	513,880
手 数 料 収 入	7,513	6,874	5,873
寄 付 金 収 入	1,839	2,329	1,454
補 助 金 収 入	236,380	264,911	277,309
資 産 売 却 収 入	310	0	0
受取利息・配当金収入	12,459	12,735	12,641
付 随 事 業 収 入	82,361	73,054	66,354
雑 収 入	8,868	12,163	4,718
退職金財団受入金収入	56,114	914	55,901
小 計 ①	936,893	887,195	938,130

前受金収入	100,915	113,663	118,872
その他の収入	104,289	63,833	5,274
資金収入調整勘定	△181,885	△102,643	△178,155
前年度繰越支払資金	1,523,808	1,432,981	1,567,791
収入の部合計	2,484,020	2,395,029	2,451,912

○支出の部

人件費支出	488,194	484,180	491,386
退職金支出	83,454	1,247	56,591
教育研究経費支出	155,582	182,637	205,685
管理経費支出	117,269	110,650	109,311
施設関係支出	37,210	15,864	8,761
設備関係支出	22,681	14,029	13,013
小計②	904,390	808,607	884,747
当年度収支差額①-②	32,503	78,588	53,383
資産運用支出	150,483	7,005	7,001
その他の支出	21,710	30,325	16,761
資金支出調整勘定	△25,544	△18,699	△32,085
翌年度繰越支払資金	1,432,981	1,567,791	1,575,488
支出の部合計	2,484,020	2,395,029	2,451,912

※令和3年度は、当年度収支差額 53,383 千円、翌年度繰越支払資金は前年度より 7,697 千円増の 1,575,488 千円となった。

3. 貸借対照表(令和元年度～令和3年度)

○資産の部

(単位:千円)

科目		令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
資産	固定資産	5,497,086	5,397,977	5,286,152
	有形固定資産	4,159,084	4,059,135	3,947,460
	特定資産・その他固定資産	1,338,002	1,338,842	1,338,692
	流動資産	1,496,615	1,572,052	1,642,401
	合計	6,993,701	6,970,029	6,928,553

○負債の部・基本金の部・繰越収支差額の部

科目		令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
負債	固定負債	231,093	228,328	224,867
	流動負債	135,351	134,275	152,595
	計	366,444	362,603	377,462
基本金		7,769,353	7,781,682	7,792,399
繰越収支差額		△1,142,096	△1,174,256	△1,241,308
純資産合計		6,627,257	6,607,426	6,551,091
負債及び純資産合計		6,993,701	6,970,029	6,928,553

※資産総額については 6,928,553 千円で大きな変動はない。流動資産については、令和2年度は前年度より 75,437 千円、令和3年度においては前年度より 70,349 千円増加した。

Ⅲ. 法人の概要

1. 学校法人 鶴鳴学園

所在地: 〒850-0823 長崎市弥生町 19 番 1 号

理事長: 原田 雄司

2. 設置する学校・学部・学科等及び学生・生徒・園児数(令和3年.5.1付)

(1)長崎女子短期大学 所在地: 〒850-0823 長崎市弥生町 19 番1号

学長: 玉島 健二

学科・コース	入学定員	収容定員	1年生	2年生	在籍合計
生活創造学科	70	170	48	45	93
(栄養士コース)	(40)	(100)	(24)	(22)	(46)
(ビジネス・医療・秘書コース)	(30)	(70)	(24)	(23)	(47)
幼児教育学科	100	200	101	93	194
合 計	170	370	149	138	287

(定員充足率:77.6%)

※令和3年度入学生より、生活創造学科2コースの定員変更。

栄養士コース 入学定員 60名から40名へ

ビジネス医療秘書コース 入学定員 40名から30名へ

両コース合計 入学定員 100名から70名へ

令和3年度の収容定員

生活創造学科 1年生 70名 2年生 100名 計170名

幼児教育学科 1年生 100名 2年生 100名 計200名

総計370名

(2)長崎女子高等学校 所在地: 〒850-0834 長崎市上小島 1 丁目 11 番 8 号

校長: 小野 良介

学 科	入学定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	在籍合計
普通科	125	400	129	138	100	367

(定員充足率:91.8%)

(3)長崎女子短期大学附属幼稚園 所在地: 〒850-0823 長崎市弥生町 19 番 2 号

園長: 犬塚 光男

区分	収容定数	3歳児	4歳児	5歳児	在籍合計
3~5歳児	110	34	32	37	103

3. 理事・監事<令和3年度>

理事・監事	氏名	現職等
理事長	原田 雄司	理事長
理事	原田 延介	相談役
理事	玉島 健二	長崎女子短期大学学長
理事	小野 良介	長崎女子高等学校校長
理事	田中丸善保	株式会社佐世保玉屋 代表取締役会長
理事	小原 四郎	新日本不動産株式会社 代表取締役社長
理事	井口 國雄	株式会社あたご 代表取締役社長
理事	犬塚 光男	長崎女子短期大学附属幼稚園園長
監事	志賀 定義	医療法人清潮会 三和中央病院顧問
監事	平山 寿則	平山税理士事務所所長

4. 理事会の開催状況<令和3年度>

開催年月日	主な議案	出席数
令和3年5月26日	①令和2年度予算の補正(案)について ②令和2年度事業報告について ③令和2年度決算について ④令和3年度予算の補正(案)について ⑤報告事項 ・小島奨学基金の運営状況について ・部門別現況報告について	理事 7名 監事 2名
令和3年10月6日	①報告事項 ・部門別現況報告について	理事 8名 監事 2名
令和3年12月9日	①長崎女子短期大学の昇任人事(案)について ②長崎女子短期大学の学則変更(案)について ③長崎女子高等学校の学則変更(案)について ④理事会及び評議員会の運営と議事録の取り扱い(案)について ⑤報告事項 ・部門別現況報告について	理事 8名 監事 2名
令和4年3月23日	①令和3年度予算の補正(案)について ②令和4年度事業計画(案)について ③令和4年度予算(案)について ④長崎女子短期大学の学則変更(案)について ⑤学園人事について ⑥報告事項 ・部門別現況報告について	理事 7名 監事 2名

5. 評議員 17名(欠員なし)

6. 評議員会の開催状況(令和3年度)

開催年月日	主な議案	出席数
令和3年5月26日	①令和2年度予算の補正(案)について ②令和2年度事業報告について ③令和2年度決算について ④令和3年度予算の補正(案)について ⑤報告事項 ・小島奨学基金の運営状況について ・部門別現況報告について	評議員 16名 監事 2名
令和3年10月6日	①報告事項 ・部門別現況報告について	評議員 17名 監事 2名
令和3年12月9日	①長崎女子短期大学の昇任人事(案)について ②長崎女子短期大学の学則変更(案)について ③長崎女子高等学校の学則変更(案)について ④理事会及び評議員会の運営と議事録の取り扱い(案)について ⑤報告事項 ・部門別現況報告について	評議員 17名 監事 2名
令和4年3月23日	①令和3年度予算の補正(案)について ②令和4年度事業計画(案)について ③令和4年度予算(案)について ④長崎女子短期大学の学則変更(案)について ⑤学園人事について ⑥報告事項 ・部門別現況報告について	評議員 16名 監事 2名

7. 学園合同会議

学園合同会議は、理事長の諮問会議であり、学内理事と監事及び各部門の幹部職員により構成され、定例的に開催されている。ここでは学園(理事会)と短大・高校・幼稚園の教学が一体となって問題意識の共有を図るとともに、日常的な学生・生徒等の動向あるいは保護者からの要望等についても情報を共有する。また、理事会提案事項等の調査研究、企画立案、調整を行うなどの機能も有している。

○構成員

構成員	理事長、学園長、相談役、監事、短大学長、高校校長、幼稚園長、法人本部長、法人本部次長、短大事務局長、高校事務長
-----	---

○令和3年度学園合同会議開催状況

	開催年月日	主な議案・報告事項
第1回	令和3年4月21日	①今年度の運営方針及び次年度の募集計画等について

第2回	令和3年5月19日	<p>①5月26日開催の理事会・評議員会における議案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度予算の補正(案)について ・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算について ・令和3年度予算の補正(案)について <p>②5月26日開催の理事会・評議員会における報告事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小島奨学金の運営状況 ・部門別現況報告
第3回	令和3年6月16日	<p>①高校の新型コロナウイルス感染症への対応状況について</p> <p>②部門別現況報告について</p>
第4回	令和3年7月21日	<p>①令和3年度予算の執行状況について</p> <p>②部門別現況報告について</p>
第5回	令和3年9月15日	①部門別現況報告について
第6回	令和3年10月20日	<p>①令和3年度予算の執行状況について</p> <p>②部門別現況報告について</p>
第7回	令和3年11月17日	<p>①12月9日開催の理事会・評議員会における議案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎女子短期大学教員の昇任人事(案)について ・長崎女子短期大学の学則変更(案)について ・長崎女子高等学校の学則変更(案)について ・理事会及び評議員会の運営と議事録の取り扱い(案)について <p>②12月9日開催の理事会・評議員会における報告事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門別現況報告
第8回	令和4年1月20日	<p>①令和3年度予算の執行状況について</p> <p>②部門別現況報告について</p>
第9回	令和4年2月17日	<p>①若竹寮管理の外部委託について</p> <p>②部門別現況報告について</p>
第10回	令和4年3月16日	<p>①3月23日開催の理事会・評議員会における議案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予算の補正(案)について ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度予算(案)について ・長崎女子短期大学の学則変更(案)について ・学園人事について <p>②3月23日開催の理事会、評議員会における報告事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門別現況報告

8. 教職員(令和3年.5.1付)

		理事長・学園長 相談役	短大	高校	幼稚園	本部	合計
教 員	専任		19	18	9		46
	特専・常勤		3	12			15
	非常勤		38	8	2		48
職 員	専任	3	19	4	3	4	33
	非常勤		2	1	3		6
合 計		3	81	43	17	4	148

9. 建学の理念・教育目標

(1) 建学の精神

－ 鶴九阜に鳴きて声天に聞こゆ －

中国の古典「詩経」の小雅・鶴鳴篇の中の一節で、本学園の建学の精神である。鶴は、人に知られない山奥の沢辺で鳴いても、その声は遠くまで達するという意味であり、この詩句には深い人間的意味が込められている。

社会の中で人に知られなくても、地味だが現実に根ざして誠実に生き、学びつづけている人は、深い谷間で鳴く鶴の声が、やがて天の高みまで響くように、必ず人々から高く評価されるようになるということである。

本学園では、深い誠実な生き方を示す「至誠」を基本として、人間教育を大切にし、「品性」を涵養する学園を創造しつづけている。

(2)短大の教育理念・教育目標・学位授与の方針

○教育理念

創立以来、輝く女子教育の伝統と歴史の上にたち、建学の精神に基づいて、深い学理の探求と優れた技術の練磨とによって、社会の平和と幸福の増進に寄与し、自立性をもつ現代女性の育成を使命とする。

○教育目標(学訓):「尽心・創造・実践」

尽心・創造・実践は、建学の精神と教育理念に基づいて生まれたものである。即ち、常に至誠の心をもって事に当たり、「もの・こと」の本質を見つめつづけ、古き慣習にとらわれず、より良きもの、より高きものを創ることに努め、かつこれを単なる理念にとどめることなく実践することを意味する。

○学位授与の方針

教育目標(学訓)と学修成果の到達目標に基づいて開講されている教育課程の科目を履修し、学則に規定する成績評価の基準で卒業に必要な単位を修得した者。これにより社会に貢献できる資質を身につけた者に、短期大学士の学位を授与する。

(3)高校の校訓・教育方針・教育目標

○校訓:「真心・創意・共生」

○教育方針

創造的意志を大切にし、豊かな教養と人間性を育むとともに国際的視野に立ち、共に生きる思いやりの心を有する女性の育成を目指す。

○教育目標

- ①生命の尊さを学び、優しい心を育てる。
- ②自然と環境を愛し、人間尊重の精神を育てる。
- ③清らかな心を育て、品性の向上に努める。
- ④基本的生活習慣を確立させ、精勤を奨励する。
- ⑤学業を大切にし、進路目標の達成に努める。
- ⑥個性を伸ばし、感性豊かな表現力を育てる。
- ⑦ねばり強く取り組む気力・体力を育てる。
- ⑧校内の美化と地域・社会への奉仕に努める。
- ⑨生徒会活動や部活動の活性化に努める。
- ⑩多文化との交流を深め、国際的視野を広める。

(4)附属幼稚園の教育目標

豊かな学園環境の中で、たくましく、やさしい、思いやりの心を大切に育てる。

- いのちを大切に「ありがとう」の言える子ども
- 明るく元気にあいさつのできる子ども
- 表現豊かで創るよろこびをもつ子ども
- 友だちと仲よく遊べる子ども
- あきらめずやりぬこうとする子ども

10. 学園の沿革

年 月	事 項
1896(明治 29)年 10 月	長崎女子学院を創立(市内出来大工町 27) 新潟県出身の笠原田鶴子が、欧米視察のため長崎に立ち寄った折、外国との交流のある長崎でありながら意外と女性の地位が低いことを痛感し、欧米視察を断念して、女子教育に情熱を燃やすことを決意した。 教師4名、生徒2名でのスタートであった。
1901(明治 34)年 4 月	伊良林町 77 番戸に移転、校名を「鶴鳴女学校」と改称 教師 8 名、生徒 50 名 「鶴鳴」の由来は、中国の詩経「鶴九臯に鳴いて声天に聞こゆ」の句による。また創立者笠原田鶴子の名に因んだものであった。
1906(明治 39)年 3 月	原田豊一第2代校長に就任
1912(明治 45)年 4 月	「鶴鳴実科高等女学校」と改称、定員 250 名
1918(大正 7)年 3 月	原田アサ第3代校長に就任
1920(大正 9)年 5 月	「鶴鳴高等女学校」に改称
1921(大正 10)年 2 月	校舎を現在地の上小島に移転
1925(大正 14)年 1 月	原田アサ校長、ロンドン留学(昭和3年帰国)

1947(昭和 22)年 4 月	鶴鳴中学校設置
1948(昭和 23)年 4 月	学制改革で「鶴鳴女子高等学校」と改称(普通科)
1951(昭和 26)年 3 月	学校法人鶴鳴学園と組織変更 原田アサ初代理事長に就任
1951(昭和 26)年 4 月	「商業科」を増設
1952(昭和 27)年 4 月	鶴鳴幼稚園が高校敷地内に開園、原田アサ初代園長に就任
1959(昭和 34)年 10 月	鶴鳴中学校廃止
1960(昭和 35)年 6 月	原田鶴代第 2 代理事長に就任
1960(昭和 35)年 12 月	原田寅次郎第4代校長に就任
1960(昭和 35)年 12 月	原田寅次郎鶴鳴幼稚園第2代園長に就任
1966(昭和 41)年 4 月	鶴鳴女子短期大学開学(家政科) 原田寅次郎初代学長に就任
1966(昭和 41)年 4 月	旭が丘鶴鳴幼稚園開園(弥生町) 原田寅次郎初代園長に就任
1966(昭和 41)年 10 月	学園創立 70 周年記念式典を挙行
1967(昭和 42)年 4 月	短大の家政科を家政専攻と食物栄養専攻に分離増設
1969(昭和 44)年 4 月	鶴鳴女子短期大学を長崎女子短期大学に改称
1970(昭和 45)年 4 月	短大の家政科家政専攻を家政専攻と被服意匠専攻に分離増設
1970(昭和 45)年 6 月	短大の学生募集低迷のため次年度の学生募集停止の決定をなす
1970(昭和 45)年 11 月	短大の学生募集再開
1970(昭和 45)年 11 月	長岡達第2代学長に就任
1970(昭和 45)年 12 月	川崎周之第5代校長に就任
1970(昭和 45)年 12 月	法人本部を設置
1971(昭和 46)年 4 月	原田慶子鶴鳴幼稚園第3代園長に就任
1971(昭和 46)年 8 月	原田延介第3代理事長に就任
1972(昭和 47)年1月	長岡達旭が丘鶴鳴幼稚園第2代園長に就任
1972(昭和 47)年1月	川崎周之鶴鳴幼稚園第4代園長に就任
1973(昭和 48)年 4 月	短大に幼児教育学科を増設
1973(昭和 48)年 4 月	原田延介鶴鳴幼稚園第5代園長、旭が丘鶴鳴幼稚園第3代園長に就任
1975(昭和 50)年 10 月	学園創立 80 周年記念式典を挙行 初代理事長原田アサ胸像建立
1977(昭和 52)年 9 月	短大体育館が完成
1978(昭和 53)年 4 月	藤田源次郎第6代校長に就任
1979(昭和 54)年 1 月	短大に新学生寮「若竹寮」完成
1979(昭和 54)年 4 月	原田延介第3代学長に就任
1979(昭和 54)年 4 月	原田慶子学園長に就任
1980(昭和 55)年 4 月	太田多美子鶴鳴幼稚園第6代園長に就任
1980(昭和 55)年 4 月	山川雅雄旭が丘鶴鳴幼稚園第4代園長に就任
1982(昭和 57)年 4 月	短大の家政学科家政専攻と被服意匠専攻を統合し生活文化専攻を新たに設置

1983(昭和 58)年 4 月	稲永侑三旭が丘鶴鳴幼稚園第5代園長に就任
1984(昭和 59)年 3 月	旭ヶ丘鶴鳴幼稚園の園舎が短大敷地内に新築移転
1984(昭和 59)年 4 月	稲永侑三鶴鳴幼稚園第7代園長に就任
1985(昭和 60)年 4 月	長谷川信第4代学長に就任
1985(昭和 60)年 4 月	長谷川信第7代校長に就任
1985(昭和 60)年 10 月	学園創立 90 周年記念式典を挙行
1988(昭和 63)年 4 月	短大家政学科を生活科学科に生活文化専攻を生活情報専攻に改組
1988(昭和 63)年 4 月	法人本部を短大内に移転
1990(平成2)年 4 月	菊谷元資第5代学長に就任
1990(平成2)年 4 月	前田英昭第8代校長に就任
1993(平成 5)年 2 月	高校の校舎・体育館の外壁全面改装工事完了
1994(平成6)年 4 月	江副功第9代校長に就任
1994(平成6)年 4 月	前田英昭鶴鳴幼稚園第8代園長、旭が丘鶴鳴幼稚園第6代園長に就任
1994(平成 6)年 10 月	短大の新校舎完成(100 周年の先駆け工事)
1995(平成 7)年 4 月	中西弘樹第6代学長に就任
1996(平成8)年 10 月	学園創立 100 周年記念式典 記念事業として高校第二体育館新築・グラウンド整備工事が完成
1997(平成 9)年 4 月	鶴鳴女子高等学校を長崎女子高等学校に改称 進路別コースがスタート
1997(平成 9)年 4 月	鶴鳴幼稚園を長崎女子短期大学附属第一幼稚園に、旭が丘鶴鳴幼稚園を長崎女子短期大学附属第二幼稚園に改称
1998(平成 10)年 4 月	田中正明第 10 代校長に就任
2000(平成 12)年 4 月	田中正明第7代学長に就任(校長兼務)
2000(平成 12)年 4 月	柳原邦弘長崎女子短期大学附属第一幼稚園第9代園長、第二幼稚園第7代園長に就任
2001(平成 13)年 4 月	短大の生活科学科に生活福祉専攻(介護福祉士養成)を設置
2002(平成 14)年 4 月	犬塚光男第 11 代校長に就任
2004(平成 16)年 4 月	原田延介理事長 第 12 代校長を兼務(犬塚光男副校長) 長崎女子高等学校「商業科」を廃止 長崎女子高等学校入学定員変更(500→200)
2004(平成 16)年 4 月	長崎女子短期大学附属第一幼稚園と第二幼稚園を統廃合し、長崎女子短期大学附属幼稚園に統一(第一幼稚園休園)
2005(平成 17)年 4 月	犬塚光男長崎女子短期大学附属幼稚園第 10 代園長に就任
2005(平成 17)年 9 月	短大1号館外壁全面改修工事完了 短大校舎と学生寮食堂連絡通路工事完了
2005(平成 17)年 10 月	財団法人短期大学基準協会の第三者評価訪問調査 10 月 20 日・21 日
2006(平成 18)年 3 月	財団法人短期大学基準協会の第三者評価において「適格」認定
2006(平成 18)年 4 月	馬場正典第 13 代校長に就任
2007(平成 19)年 4 月	長崎女子高等学校入学定員変更(200 名→170 名)

2008(平成 20)年 4 月	原田雄司副理事長就任
2008(平成 20)年 4 月	江副功第8代学長に就任
2008(平成 20)年 4 月	柳川伸一第 14 代校長に就任
2009(平成 21)年 6 月	奈良県の奈良佐保短期大学と相互評価締結について調印
2010(平成 22)年 4 月	短大の生活福祉専攻を「介護福祉専攻」に名称変更
2010(平成 22)年 4 月	短大が奈良佐保短期大学と相互評価を実施
2010(平成 22)年 8 月	短大が文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム」採択
2011(平成 23)年 3 月	長崎女子短期大学附属第一幼稚園廃園
2011(平成 23)年 3 月	高校第一体育館・短大学生寮の耐震化工事が完了
2011(平成 23)年 4 月	短大の生活情報専攻を「生活総合ビジネス専攻」に名称変更
2011(平成 23)年 4 月	鈴木賢二長崎女子短期大学附属幼稚園第 11 代園長に就任
2011(平成 23)年 10 月	学園創立 115 周年記念演奏会—掛屋剛志ピアノコンサート—
2012(平成 24)年 9 月	(財)短期大学基準協会第三者評価評価委員 4 名が現地調査
2013(平成 25)年 3 月	(財)短期大学基準協会第三者評価 2 回目の「適格」認定
2013(平成 25)年 4 月	小野良介第 15 代校長に就任
2013(平成 25)年 8 月	高校龍踊部が全国総文祭優秀校東京公演に県代表として出場
2013(平成 25)年 9 月	短大トイレ全面改修工事完了
2014(平成 26)年 4 月	浦川末子第9代学長に就任
2014(平成 26)年 4 月	長崎女子短期大学生活科学科を生活創造学科に名称変更、併せて専攻を廃止しコース制に改組(栄養士コース定員減 80→60)
2014(平成 26)年 4 月	長崎女子高等学校の入学定員減(170→150)
2015(平成 27)年 6 月	長崎女子高等学校進入道路工事着工
2015(平成 27)年 7 月	文部科学省運営調査
2015(平成 27)年 12 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事に伴う校舎解体工事に着手
2016(平成 28)年 4 月	玉島健二第 10 代学長に就任
2016(平成 28)年 4 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事(第一期工事)着工
2016(平成 28)年 6 月	長崎女子高等学校進入道路工事完了
2016(平成 28)年 12 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事(第一期工事)完了
2017(平成 29)年 11 月	長崎女子高等学校耐震補強工事(第二期工事)完了
2018(平成 30)年 3 月	短大が文部科学省「平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ⑤)に採択される
2018(平成 30)年 3 月	長崎女子短期大学入学定員 40 名減(生活創造学科介護福祉士コース募集停止)
2019(平成 31)年 3 月	短大が文部科学省「平成 30 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ⑤)に採択される
2019(平成 31)年 3 月	長崎女子短期大学生活創造学科「介護福祉士コース(入学定員 40 名)」の 2 年生が卒業し、同コースの廃止が完了した これにより入学定員は、生活創造学科は栄養士コース 60 名、ビジネス・医療秘書コース 40 名、幼児教育学科 100 名で、計 200 名となる

2019(平成 31)年 3 月	原田延介第 3 代理事長が辞任
2019(平成 31)年 4 月	原田雄司第4代理事長に就任
2020(令和 2) 年 3 月	(財)短期大学基準協会の認証評価において3回目の適格認定
2020(令和 2) 年 3 月	短大が文部科学省「令和元年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ③)に採択される
2020(令和 2) 年 3 月	短大と長崎明誠高等学校との「教育活動の充実・推進等に関する連携協定」が締結される。
2020(令和 2) 年 4 月	長崎女子高等学校の入学定員減(150→125)
2020(令和 2) 年 4 月	長崎女子短期大学生生活創造学科の令和 3 年度入学生からの入学定員を栄養士コース(60→40)、ビジネス・医療秘書コース(40→30)と改める。
2020(令和 2) 年 11 月	短大と長崎県との「若者の県内定着促進等に係る連携協定」が締結され、「長崎県内企業・事業所魅力発見事業」に取り組む。
2021(令和 3) 年 2 月	短大と長崎県中小企業家同友会との「包括連携協定」が締結される。
2021(令和 3) 年 3 月	短大が文部科学省「令和 2 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ③)に 4 年連続採択される。

IV. 今後の課題について

入学年齢人口が年々減少という厳しい運営を強いられる状況下で、学園の存続を如何に図っていくかが大きな課題である。何より短期大学、高等学校、幼稚園を擁する総合学園として相互の連携を一層強化し、地域での存在感を高めていかなければならない。

生徒数確保が厳しい中、財務面においては学生生徒等納付金収入など収入が減少傾向にある。収支のバランスを崩さないよう、支出超過とならないよう、収入の範囲内で人件費等支出をどう抑えるか、また、生徒をどう確保して収入を維持するか、収支のバランスをいかに維持していくかが重要である。

短期大学においては、次年度学生募集で幼児教育学科、生活創造学科の2コース共に定員を下回る厳しい状況となった。「特色化推進プロジェクト会議」が設置され3年目となり、全学を挙げて改革や特色化に取り組んでいるところであるが、引き続き学生募集対策は喫緊の課題である。

高等学校においても、短期大学同様、生徒募集は厳しい状況が続くと想定され、今後は、普通科総合選択制をさらに深化させて行くとともに、ICT教育の充実にも取り組み、短期大学との連携教育を中心とした進路支援教育、地域を想定したキャリア教育を定着させることが課題である。

幼稚園においては、短大の附属幼稚園としての特色を一層鮮明に出し、他園との違いを明確にしていくと同時に、保育の質の向上、在園児・保護者の満足度向上に、引き続き全力で取り組んでいく。